

Q

合併処理浄化槽への 転換を

A

住宅密集地では
公共下水道を優先する



半澤勝好 議員

問

犯罪の検挙率が下が
って治安の悪化が心配さ
れています。

犯罪の増加は教育など
多方面に影響します。安
全があつてこそ自由が確
保されると考えます。



我妻弘國 議員



工事中の合併処理浄化槽

問

広域公共下水道整備
に全国で毎年、3〜4兆
円と巨額の予算が投入さ
れています。柴田町は「合
併処理浄化槽」に切り替
える考えがないか町長の
所見を問う。

合併処理浄化槽は設置
費用が安く工事も簡単。
しかも浄化能力も公共下
水道に勝るとも劣らない
ので各地方自治体でも見
直されていると公明新聞
で報道されている。
柴田町でも毎年多額の
費用を投入した割に工事

答

は進まない。合併処理浄
化槽を導入すれば今まで
の予算で何倍もの仕事が
できるし、費用も大幅に
節減できるので、ぜひ町
長は見直すべきだと思っ
ております。

答 滝口町長 柴田町の
公共下水道の普及率は県
内で14番目、仙南では4
番目の普及率です。柴田
町の方針は公共下水道は
住宅密集地で行い、合併
処理浄化槽は下水道認可
区域以外の区域で補助金

答

を交付して設置していま
す。平成14年度の合併処
理浄化槽設置基数は96基
で、補助金を交付した基
数は35基でした。合併処
理浄化槽による処理は起
伏のある地域では安い費
用で工事も簡単なので、
住宅の点在する地域の整
備になりましたらその方
法で検討したいと思いま
す。

答

滝口町長 平成15年
度の犯罪防止施策の地区
重点地域に指定され、前
年同期と比べて犯罪の発
生件数は24割の減少を見
たが、環境浄化活動には
住民の互いに助け合う地
域コミュニティが大切
と考えます。

答

滝口町長 (3) 防犯ブ
ザーを全員に配布するの
は財政的に難しい。

(4) 新年度にジャンパー
かベストを用意します。

Q

安全な町づくり推進を

A

住民の安全パトロールに
ジャンパーを用意

- そこで犯罪を未然に防
ぐ対策について質問しま
す。
- (1) 町内の防犯灯が暗す
ぎると思うが。
 - (2) 町内の各学校では保
護者と一緒に安全マップ
を作成しているのか。
 - (3) 児童、生徒に防犯ブ
ザーを貸与できないか。
 - (4) PTAや地区住民の
方たちが安全パトロール
する時のジャンパー、ベ
ストを作つてはどうか。

答

防犯灯の増設は新年
度も続けていきたい。

太田教育長 (2) 現在は
各学校の責任で作成して
いるが、今後教育委員会
でも関わっていきたい。



登校中の槻木小児童